

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 政創-01 企画総合計画事業				
主管課	政策創造担当	関連課			
分野名	行財政運営				
目標 (目標値)	市の長期的展望に係る調査研究と、新たな市政の取組を進めるとともに、職員の政策形成能力、基礎自治体としての政策形成力の向上を図ります。(調査研究:年間3件以上、プロジェクトチームの推進:年間1件以上)				
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯	
	事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	18,321	8,844	7,351	
	(国・県)				
	(負担金等)				
	(一般財源)	18,321	8,844	7,351	
	人員配置数	2.9人	3.8人	3.8人	
	人件費(千円)	22,746	30,401	33,142	
	協働のパートナー				
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	41,067	39,245	40,493	
	市民1人当りの経費(円)	231	221	229	
	対象者1人当りの経費(円)				
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒				

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
政策・施策調査研究	○	目標値	簡易人口推計の実施	将来人口推計調査の実施	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	簡易人口推計の実施	将来人口推計調査の実施	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組	・鎌倉市の現状分析 ・鎌倉市の長期的展望 ・新たな市政の取組

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
政策研究事業	18,321	政策研究事業	6,921	今後の方向性	A	理由・手法 庁内プロジェクトチームによる3つの調査研究を行い、政策提言まで繋げることができた。今後も、引き続き政策提言につなげる調査研究を実施する。
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究体制を整備するとともに、職員の政策形成能力向上を図るため、庁内プロジェクトチームを新たに設置し、調査研究を進める。</li> <li>長寿社会のまちづくりについては、引き続きプロジェクトチームを設置し、地域資源の活用研究やまちの将来ビジョンづくり等に取組む。</li> <li>鎌倉ウェディングについては、引き続きプロジェクトチームを設置し、事業化に向けた検討を行う。</li> </ul>										
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内プロジェクトチームにより「財政シミュレーションから見た鎌倉市の将来ビジョンの考察」、「観光客がもたらす経済効果調査」、「クリエイティブ産業支援策と経済効果調査」を実施した。</li> <li>長寿社会のまちづくり・鎌倉ウェディングについては、引き続きプロジェクトチームによる検討を進めた。</li> <li>新たな公民連携の在り方の検討調査として、「地域経営型PPP」についての調査研究を行った。</li> </ul>					取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政シミュレーションから見た鎌倉市の将来ビジョンの考察については、25年度に実施した財政シミュレーションを基に、将来ビジョンの考察を行う。</li> <li>長寿社会のまちづくりについては、引き続きプロジェクトチームを設置し、地域資源活用研究やまちの将来ビジョンづくり等に取組む。</li> <li>鎌倉ウェディングについては、引き続きプロジェクトチームを設置し、事業化に向け活用モデルの整理検討を行う。</li> </ul>										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	庁内プロジェクトチームによる研究は「鎌倉草創塾」と命名し、職員課による4級研修とのタイアップも行いながら、年2~3つのテーマについて、調査研究を行っていく。 長寿社会のまちづくりのうち、分譲地の課題解決については、これまでの取組を整理した上で、将来ビジョンづくりを進める。 鎌倉ウェディングについては、H26に公共施設を活用したウェディングの骨格やイメージを作成し、活用モデルの整理検討を行ったのち、実施に向けた検討を進める。 上記の取組や併せて講座の開催等により、職員の政策形成能力の向上も図っていく。							A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		A	
※□事業完了											

評価者名

政策創造担当担当課長

小林昭嗣

